TsutaMaru

NPO法人 伊賀の伝丸

私たちはこんな団体です！

NPO法人伊賀の伝丸TSUTAMARUは、1999年4月「言葉の壁を乗り越えてともに住み良いまちづくりをする」ことを目的に、通訳のできる者など約30名で設立、2003年に事務所移設、2005年4月に特定非営利活動法人として登記し、今年で13年目を迎えました。

主な事業は、多言語での通訳・翻訳・生活相談、日本語やポルトガル語の語学講座、そして多文化共生に関する調査研究です。通訳・翻訳の対応言語は、ポルトガル語・スペイン語・中国語・英語・タイ語など約10言語に対応しています。文化や習慣の違う人々が、心とこころを伝えるときに足りないものを補い、少しのスキマを埋めていくこと。これが伝丸の仕事です。

「書き描き塾」応募の動機。

法人設立から13年、地道な活動を続け、地域の方に徐々に応援いただける団体になってきたと自負していました。しかし、日本のPRが弱く、デザイン会社や印刷会社に企画提案を求めたこともあったのですが、却下の反映されたものが、なかなか作成できませんでした。結局、パンフレットは古い使えないままのものを使用し続けており、ロゴマークは当時したものを約14年使用していますが、団体の成長に合わせてリニューアルしたいと考えるようになりました。

そのような折にパンフレット、ロゴマークにリニューアル、想いや実績が伝わるようなものにしたいと思い今回の書きていただきました。

Before...

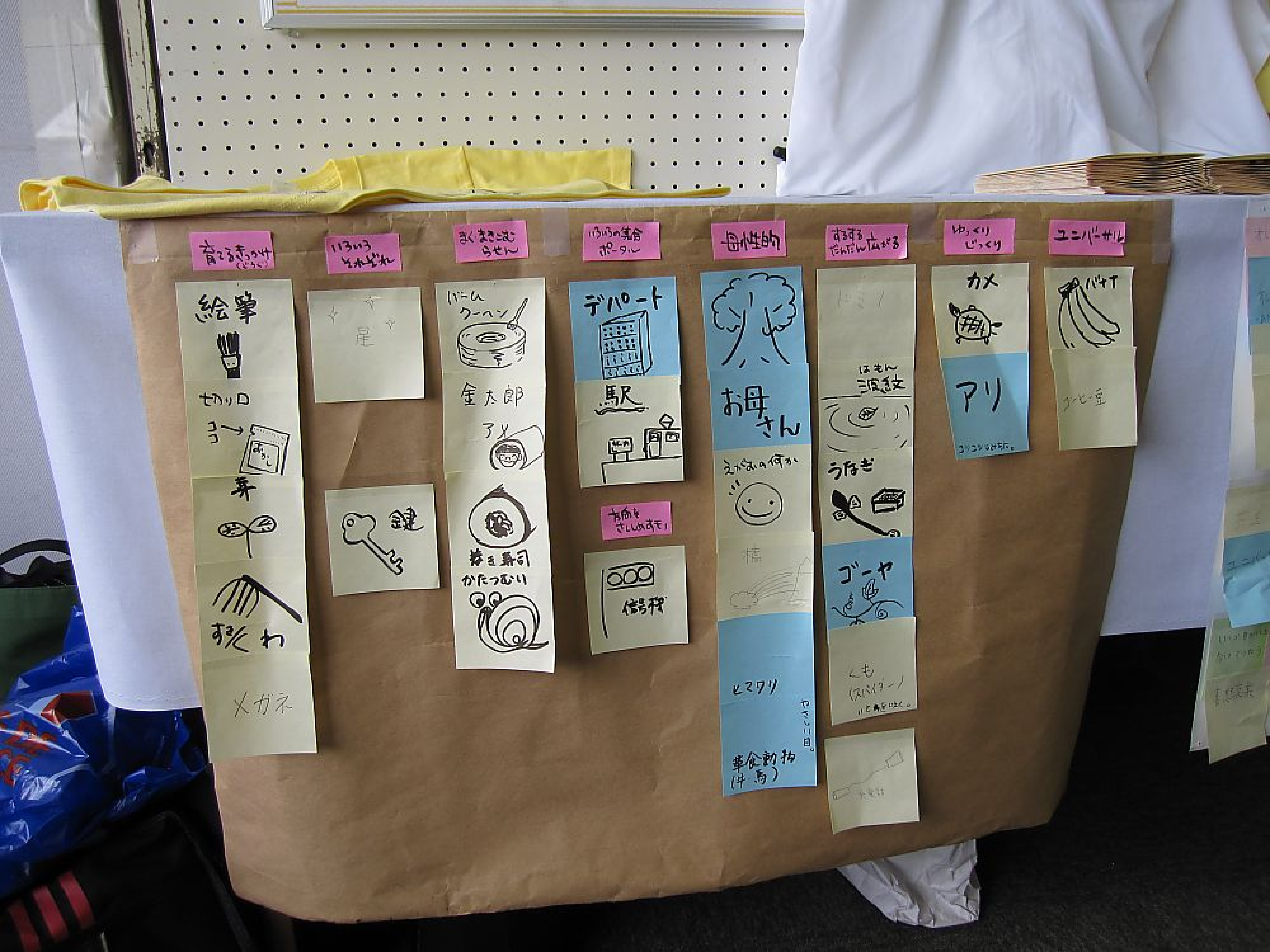
After!

この学びと成果を活かして、
これからやっていきたいこと。

「伊賀の伝丸」を知らない方からは、よく「デンマルさん」と言われることがあります。どうもラーメン屋の「伝丸」のほうが通りがよいようです（笑）。今後は、ロゴを見れば漢字の読める人も読めない人も「あの「つたまる」さん」とわかりこころとこころを伝えるために、お互いに、がコアクティブに活動しているイメージを多くの人に持っていただけるのではないかと期待しています。

今回、書き描き塾に参加したことで、新旧スタッフが顔合わせのきっかけや、今までの経緯、そして団体への想い、今今後のビジョンなどを共有することができ、話合いの大切さを再認識させてくれました。今後は、ロゴの説明をするとき、どのスタッフもしっかりと伝えられるよう想いを新に語ることができると思います。団体のイベントやセミナー開催時に、ロゴの入ったユニフォームを着用し、見た方の記憶に残り、チームワークの良い信頼のある団体とみていただけるはず！またパンフレットのリニューアルをきっかけに、今まで以上に多くの方に「つたまる」を広く発信したいと考えています。

※記：この支援を企画してくださり、毎回大幅に遅れがちの「宿題」にも激笑みながらサポートしてくださったMプロジェクトのみなさんに心から感謝です！



育てるきっかけ
いろいろそれぞれ
まくまきこむらせん
いろいろの集合ポータル
母性的
するするだんだん広がる
ゆっくりじっくり
ユニバーサル
絵筆
切り口
芽
メガネ
星
鍵
バームクーヘン
金太郎アメ
巻き寿司
かたつむり
デパート
駅
信号機
お母さん
えがおの何か
ヒマワリ
草食動物 (牛、馬)
波紋
うなぎ
ゴーヤ
くも (スパイダー)
カメ
アリ
バナナ
コーヒー豆

After!
この学びと成果を活かして、
これからやっていきたいこと。
TsutaMaru

Coca-Cola
Blendy

エアコンの
スイッチについて
majo+展

DELL

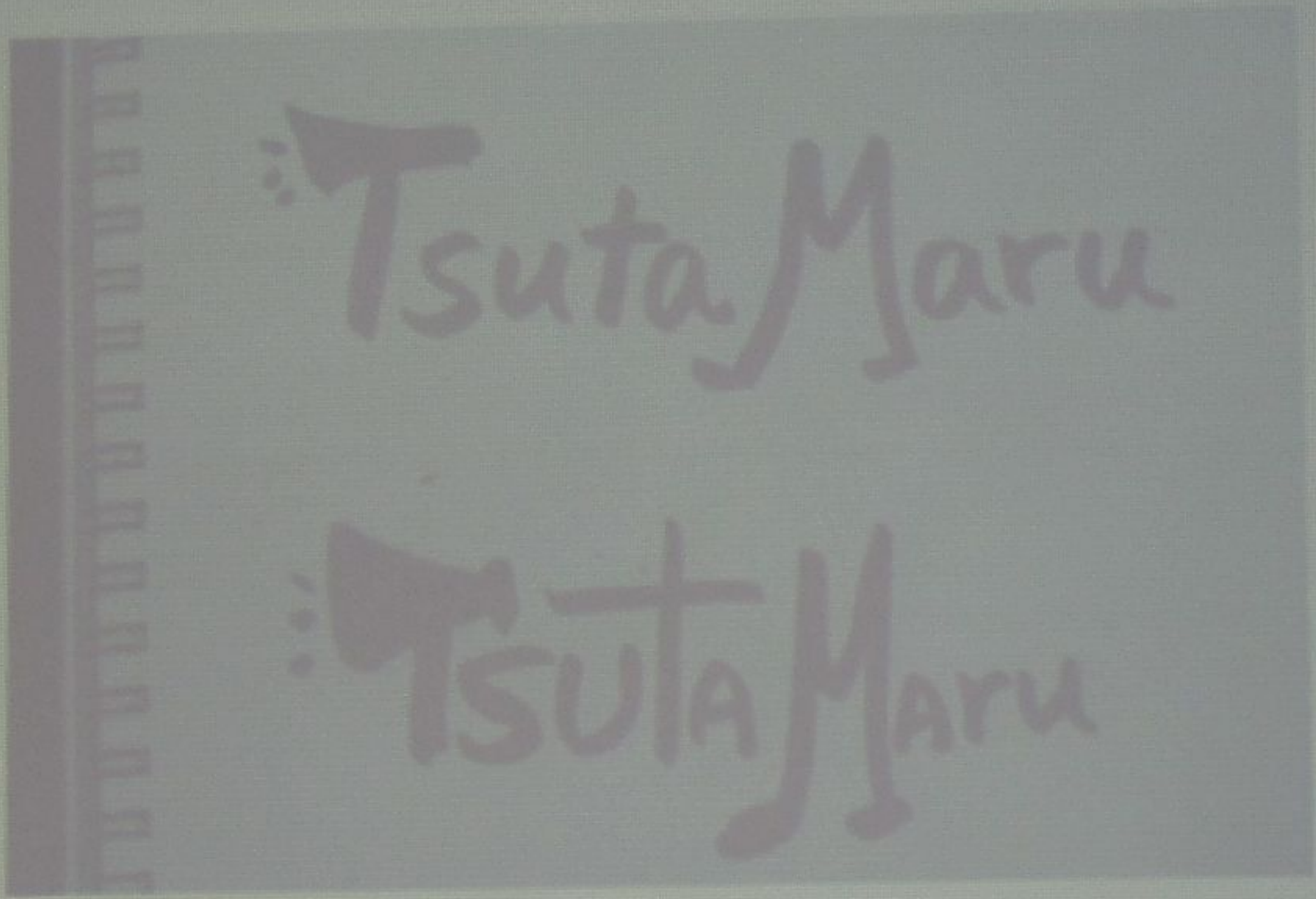
書き始め展

団体発表

NPO法人 伊賀の伝丸

心とこころを伝えてまわる

TsutaMaru


Tsuta Maru
Tsuta Maru

NEW!【キャラクター】

伊賀の伝丸
イメージキャラクター
つるちゃん

【書き描き塾　支援風景】

心とこころを伝えてまわる
TsutaMaru
物入